

横浜長浜「検疫資料館」の保存・利活用に関連した特別講演ご案内

主催 NPO 法人野口英世よこはま顕彰会

理事長 田中常義

世話人 平山次清

NPO 法人野口英世よこはま顕彰会は NPO 法人横浜金沢文化協会と連携して金沢区長浜にある検疫資料館（旧 1 号停留所）の保存と利活用に関して住民の皆様にも参加いただく勉強会を過去 3 回開催して参りました。

4 回目は野口英世よこはま顕彰会主催で「特別講演」と銘打って、各地の遺産等を活用した街づくりについて、自らも指導され経験豊富な米山淳一様による講演をお願いしました。我が国の宝として、我々の地元に適した街づくりにも寄与できる利活用を考える上でも、視野を更に広げる意味でも大いに参考になるのではないかと思います。30 人という人数限定ではありますが、ご参加頂くよう下記ご案内させていただく次第です。

記

日時：6月18日（土）14:00～16:00（13:30 開場）

場所：オフィス金沢（金沢スポーツセンター内。駐車は近くのピアレで3時間まで無料）

（ご希望があれば SKYPE による配信も検討します）

収容可能人数：30 名（マスク着用をお願いします）

講演表題：「歴史を生かしたまち造り」（講演予定概要添付）

講師：米山淳一（よねやま じゅんいち）氏

公益社団法人 横浜歴史資産調査会 常務理事

講師略歴：

1951 年神奈川県生まれ。獨協大学外国語学部英語学科卒。元財団法人日本ナショナルトラスト事務局長。現在、公益社団法人横浜歴史資産調査会常務理事・事務局長。「歴史を生かしたまちづくり」を推進。また、地域遺産プロデューサーとして、全国の歴史的町並み、棚田、近代化遺産、鉄道遺産、絹遺産等の保存活用、歴史を生かしたまちづくりと観光を推進。長浜鉄道スクエア名誉館長、一般社団法人日本茅葺き文化協会理事、日本鉄道保存協会事務局長、シルクロード・ネットワーク協議会事務局長、NPO 法人街・建築・文化再生集団理事。

著書／「地域遺産みんなと奮戦記」（学芸出版社）、写真集「上越線—四季を駆ける仲間たち」（河出房新社）、「歩きたい歴史の町並 重要伝統的建造物群保存地区 全 86 カ所」（JTB パブリッシング）、「歴史鉄道酔余の町並み」「続・歴史鉄道酔余の町並み」写真集「光り耀く特急ときの時代」以上（駒草出版）ほか。

【講演予定概要】

<歴史を生かしたまちづくり> 米山淳一 2022年6月18日

<はじめに>

全国各地でその土地固有の歴史・文化・自然等の地域遺産を保存・活用するまちづくりが行われ成果をあげている。その結果、地域に快適な住環境をもたらすとともに観光資源として活用し地域活性化に寄与。市民、行政、専門家、企業等が力を合わせて地域を愛し、育て、誇る、まちづくりの姿を紹介する。

1. 英国に学ぶまちづくりの思想

- シビックトラストの活動 1957年設立 地域環境保全団体との連携
(歴史を生かしたまちづくり) *シビックアメニティーズアクト 1967年
*シビックボイスに活動が移行 2011年
- ナショナルトラストの活動 1895設立 市民募金・寄贈で遺産を取得
(歴史自然遺産の所有管理公開) *ナショナルトラスト法成立 1907年
*カントリーハウス保存制度 1931年
*ネプチューン計画(海岸線) 1965年

2. 日本の歴史的遺産の保存

- a 歴史的集落と町並みの保存 (点から面へ、地域丸ごと保存)
 - *重要伝統的建造物群保存地区 1975年～現在126地区選定
- b 近代遺産の保存活用(我が国の近代化に貢献した産業、交通、土木遺産)
 - *登録有形文化財 1996年～現在約10000件以上
- c 重要文化的景観保存地区 2004年～現在約50地区選定
 - *棚田、里山、漁村、流通、鉱山他。第1号は「近江八幡の水郷」
 - *「姨捨棚田」(長野県千曲市)平成22年選定

3. 財団法人日本ナショナルトラストの活動 1968年設立 観光資源保護 調査・保護・普及事業の推進 白川郷合掌民家の保存と活用ほか

4. 歴史を活かしたまちづくり・実践編

- ◎飛騨古川(岐阜県飛騨市)町衆と飛騨の匠がまちづくりを支える
- ◎奈良まち(奈良市)ならまち賑わい構想
- ◎湖北の城下町(滋賀県)黒壁プロジェクトが瀕死のまちを救った
- ◎元祖歴史を生かしたまちづくりは横浜(神奈川県)
歴史的建造物の登録・認定制度が横浜らしい景観の保全を推進
- ◎重要伝統的建造物群保存地区の取り組み
近江八幡市八幡(滋賀県)鹿島市肥前浜宿の町並み(佐賀県)

5. 世界遺産は地域遺産

- ◎富岡製糸場と養蚕遺産の保全とシルクロード・ネットワークの推進